

ニーズから 取り組みの広がりへ

若者支援への枝葉を広げて

ビーンズプレイスは 自分にとって、 とても居やすい場所だった

15年前、集団・学校という場所の行きづらさみたいなものを感じて、ひきこもっていたんです。母親がカウンセリングに通っていたこともあって同じ所に行きました。自分だけ通うのではなく、信頼している母親と同じ先生ということで、安心でき信頼して通うことができました。信頼関係を持つことで、「社会に復帰したい」という想いも話せました。

ある日、先生がビーンズプレイスの話をしてくれて、「自分に似た感情を持つてる方々が通ってる」ということ

で、行ってみようと思ったんです。

ビーンズプレイスでは、スタッフさんが夕飯を作ってくれて、食べながらみんなと話したい事をなんでも話し、それをみんな聴いてくれる。そういう所が自分にはとても居やすく感じましたね。

社会にできるための 1つのステップであり、 自分に対する偏見が崩れた場所

ビーンズプレイスに行くまでは劣等感の塊で生きていて、そのまましていると事実がどうであれ周りが攻撃してくるとか、さげすまれてるんじゃないか?とっていたんです。その考えが、ビーンズプレイスに行くことで崩されていったんですね。

そして、利用者さんの中で友達ができ、外に知り合いができたことも自分にとって大きいことでした。

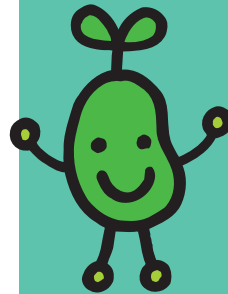
「人生の中で自分にもできることがある」と感情が前向きになり、自分に対する偏見が崩れました。

若者の居場所、 それは自分の趣味の 中での繋がりも 1つなのかもしれない

私の趣味は音楽で、同じ趣味の仲間が集まって愚痴などを話し、発散しているんです。そういう場所も、地域の中の居場所の1つだと思います。

これからもフリースクールはもちろん必要な居場所だと思います。

ビーンズ 通信 vol.93



●発行日/2019年(令和元年)5月10日

●発行元
特定非営利活動法人

ビーンズふくしま

〒960-8066 福島県福島市矢剣町22-5 2F

TEL&FAX 024-563-6255

URL <http://www.beans-fukushima.or.jp/>

E-mail info@beans-fukushima.or.jp

NPO法人ビーンズふくしまは、不登校の子どもやひきこもりの青年などに安心できる居場所を提供し、1人1人に寄り添って、ゆるやかな社会参加を促し、その自立を支援する、若者支援の理念に基づいて事業を展開しています。

ただ、その他にも自分のやりたい事ができる「居場所」がもっと増えるといいなとも思っています。

家だと許されない事が、外に出ると「凄いことしてるね」と言われることがあるじゃないですか。親御さんもそこに目を向けて、信頼関係を持って欲しいんです。信頼関係を持つことで安心して自分の居場所を見つけることができる、そして、お子さんの気持ちも楽になるのではないかと考えています。



稲刈り手伝いをしている若者たち



夏祭りイベントにお店を出して参加



不登校の元当事者であり、ビーンズプレイス元利用者を経験を活かして、ひきこもり支援の活動に協力

鹿野晃裕さん

ビーンズプレイスから 始まった 若者支援の取り組み

当時関わってくださった親御さんのお話を伺いました

ビーンズふくしまとの出会い

野地●私はひきこもりの子どもがいて、ひきこもりの家族会「コスモス会」の代表世話人をしていました。そこで、不登校やひきこもりの子どもへの対応をしている「ビーンズふくしま」というところがあると聞いたのが最初の出会いでした。家族会では多くの親御さんたちと知り合って、互いの経験をみんなで話しましたね。子どもに無理強いするのではなく、「こんな話を聞いたよ」なんて伝え方ができ、家族会があってよかったです。そして、ビーンズにはボランティアとして庭の掃除や子どもが遊びやすい環境の整備など、毎日行くようになりました。

それぞれの価値観を大切に、 一緒に活動できる場所

野地●フリースクールがお休みの土曜日には「ビーンズプレイス」を開催していたので、息子と参加しました。



野地勝夫さん
息子がひきこもりだったことから、ビーンズふくしまと繋がり、法人化した際には理事を務めていただきました。

親がサポートに入って見守り、子どもたちは雑談したり、隣の部屋では親たちがおしゃべりしたり。

若月●ビーンズプレイスにいつもいる大人が必要ということで、野地さんが居てくださいましたね。

野地●若者への就労体験ということで、中鉢さんが受けてきた仕事(鉛屋さんのシール貼り)も若者と一緒にやりました。当時は、無理に働かなくてもいいから、自分のやりたいことを考えられる場所があればいいなと思っていました。

若月●現在は「ユースプレイス」として、若者への支援を続けています。他の人と関わって、好きなことを見つけて、自分で何か、考えていけるようになるといいですね。そういう仕組みが、若者への支援では必要なことですね。

大事なのは、親と子が 心から話し合える関係性

野地●これまで、家では何も話さな

2カ所目のビーンズふくしまの玄関



NPO法人ビーンズふくしま設立イベント「ARUKU」
若者たちのステージ発表



飾りつけた玄関
オープンハウスにいらっやいませ



庭から見たビーンズふくしま

若者の居場所スタッフ



こころの相談室の はじまり

ビーンズふくしまとの出会い

私がビーンズと出会ったのは、カウンセリングルームを開業した後の、他機関との連携を模索していた時期でした。ビーンズふくしまが研修会の講師を探していた時に、福島県精神保健福祉センターが私を紹介してくださったのが出会いです。ビーンズふくしまが大事にしてい

る「困っている人たちと同じところに立って、一緒に悩んで苦しんで一緒に生きていこうとする姿勢」や、「子どもの育ちを支える」想いを知り、とても共感して、自分も関わりたいと思いました。当時、スクールカウンセラーもやっていた、不登校やひきこもりの子どもたちのその後の行き場に困ったので、すごくありがたい話でした。

ビーンズとの最初の関わりはスタッフ向けの研修でした。

その後、私自身もフリースクールに関わったりしました。フリースクールのキャンプは、私にとっては大切な思い出です。子どもたちも、スタッフも一緒に一体になった時間で、今でも思い出だけですごくあったかい気持ちになります。

私には、その子が笑顔で自分という感覚を持って自己実現していく、そこに同伴していけたら幸せだという思いがあります。それに対して福島の中で、ビーンズが一番近い活動をやっている、私は思っています。

こころの相談室が できるまで

フリースクールに入り、子どもたちと関わりを持つ中で、個人的に相談したいという子がいました。一人では聴けないので、その子のお話を私ともう一人スタッフに入ってもらい、聴きました。その時の話題は、とても深い内容もあって、フリースクールという居場所だけでなく一対一の場で、安心して心の中を語ることでできる場としての相談室が必要だと思いました。悩みを打ち明けたいと思った方一人



広い庭で流しそうめん

飯塚康代
2004年からビーンズふくしまにかかわる
現在「NPO法人ビーンズふくしま」委託スタッフ



ひとりに責任を持った関わりをしなくてはいけないと思ったんですね。それが始まりです。

こころの相談室で 大事にしてきたこと

その方が持つ本来の姿を生かされるようになること、その方にとってその方らしさを生かしていける道筋と一緒に模索していくというのは非常に重要な視点だと思っています。

相談にいらっやる方々の同伴者として、手を携えて、一緒に歩きながら、でも一方では、その人やその人を取り巻く環境を俯瞰するようにしています。相談の一対一のディープな心の中が語られる場の中で共有できることと、居場所の中でしかわからないことを共有することで、その人の全体像が初めて浮き彫りになると思っています。全体像を浮き彫りにしたうえで、その人にとってどのような関わりや支援が必要なのかを考えていくことはとても大切なことだと思っています。



起爆剤としての「法人化」

NPO法人ビーンズふくしまの誕生

ところで、皆さんは「NPO」が何の略称かご存知でしょうか。

「Non-Profit Organization」の略で、訳すると「民間非営利組織」です。近年は、社会が多様化することで、課題も多様化しています。行政機関や企業では扱いにくいニーズに対し、様々な社会貢献活動を市民の参画を持って行う組織がNPOです。そして、「NPO法人」とは、特定非営利活動促進法に基づき法人格を取得した法人のことです。法人格があると、代表者個人ではなく、団体名義で契約することができ、対外的な信用を作りやすくなります。

ビーンズふくしまは、2003年7月1日に法人登記をしました。私たちは「市民の力」で活動することを大切にしています。企業ではなく、公益法人まで大きな団体でもない。保護者や学生、それぞれの立場の人たちが参加しながら運営できる形態がNPO法人なのではないかと設立当初から考えていました。

法人化するまでは、限られたスタッフで運営していた部分もあり、団体設立当初の熱気や参画意識も徐々に冷めていく感じがありましたが、法人格を取得したことで、気持ち新たに、「市民の力」を組織



として発揮できる形を整えることができました。「みんなでやっぺいこう!」という空気や、経営・財政面をしっかりとさせようという意識を、理事やスタッフはもちろん、会員のみんなも持つことができ、今の私たちの体制へとつながる流れができました。

第17回 法人定期総会・講演会開催のお知らせ

ビーンズふくしま創立20周年を迎える法人総会を、下記の日程で開催いたします。今年も講演会を同日に開催いたしますので、お忙しいところとは存じますが、ご参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。

第17回 法人定期総会

日時／令和元年6月16日(日)10:00~12:00
会場／福島市子どもの夢を育む施設 こむこむ館2F学習室

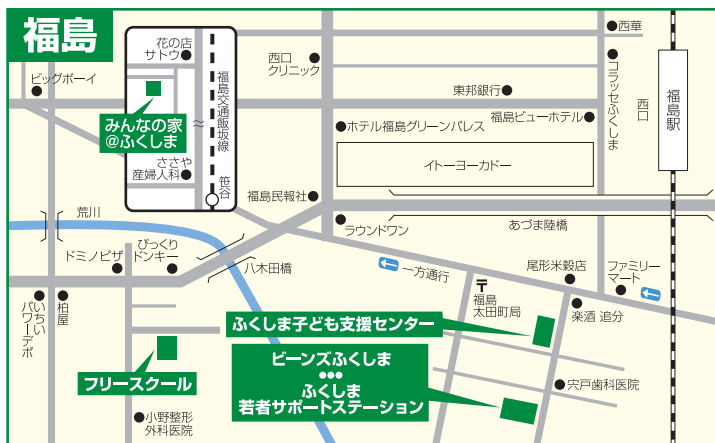
同日開催

講演会&対談

「子ども若者の育ちに必要なこと～自信を回復するために～」

日時／令和元年6月16日(日)13:30~15:30
会場／福島市子どもの夢を育む施設 こむこむ館2F学習室
講師／NPO法人明日飛子ども自立の里 理事長 清水国明(しみずくにあき)氏

※同封の案内チラシをご覧ください、皆様お誘い合わせのうえご参加ください。



●ビーンズふくしまのホームページ はこちらへアクセス → <http://www.beans-fukushima.or.jp/>